

令和4年5月吉日

学 校 長 様
英語科教諭各位
英授研会員各位

会 長 加賀田 哲也（大阪教育大学）
副 会 長 久保野 雅史（神奈川大学）
関東支部長 阿野 幸一（文教大学）
実行委員長 豊嶋 正貴（文教大学附属中学校・高等学校）

英語授業研究学会 第33回全国大会実施要項

Japan Association for the Study of Teaching English

時下、先生方にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が未だ終息を迎えていない状況ではございますが、皆様のご支援をいただきながら、関東、関西両支部ともにオンラインを利用して、毎月の例会をはじめ、春季研究大会、秋季研究大会など、学会の活動を継続しております。

英語教育改革は進行中にあり、新学習指導要領に則した授業と評価の在り方、高等学校での新教育課程の開始、小中高の連携、GIGA スクール構想下でのICT利用など、ますます多くのことが教育現場に求められています。

第33回となる今回の全国大会では、「これからの英語教育に必要な理論と実践の共有」をテーマとし、下記の通りオンラインにて実施して参ります。

このテーマのもと、皆様とともに議論し、現場の実践に生きる研究・研修の場としたいと考えております。夏休み半ば、ご多忙な時期ですが、奮ってご参加ください。会員外の先生方、教員志望の学生の方々の参加も歓迎いたします。

記

- と き： 2022年8月11日(木・祝) 13:00~17:00 (Zoom 開室：12:45)
12日(金) 13:00~17:10 (Zoom 開室：12:45)
- 会 場： オンライン開催 (Zoom)
- 参 加 費： 会員及び学生は無料（非会員でご参加を希望される場合は本学会ホームページ (<https://eijuken.smoosy.atlas.jp/ja>) からご入会の手続きを行ってください。）
- 申し込み： 下記フォームからの事前登録制
 - (1) 下記 URL から参加申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。（自動返信はありません）なお、大会当日に使用する Zoom 接続先は、8月1日、申込時に入力していただいたメールアドレス宛にお送りします。
 - (2) 万が一、8月1日のメールが届かなかった場合は、お手数ですが全国大会専用問い合わせ先より、お問い合わせください。

●大会参加申し込みフォーム：<https://qr.paps.jp/ESZbA>

●全国大会専用お問い合わせ先：<https://qr.paps.jp/Lfe4o>

< 第1日： 8月11日(木) >

総合司会：中島 利恵子（新島学園中学校・高等学校）

1. 開会あいさつ・諸連絡（13：00～13：05）

2. 授業実践報告・中学校（13：05～14：05）

「思考力・判断力・表現力を養う単元末のタスク中心の授業－技能統合を通して発展したスピーチへー」

報告者：木村 祐太（石川県・金沢市立西南部中学校）

コメンテーター：加賀田 哲也（大阪教育大学）

3. 課題別分科会（14:15～15:30）

<第1会場>「小学校で育てる英語の力－中学校への示唆」

提案者：俣野 知里先生（京都市立二条城北小学校）

黒木 愛（東京都・杉並区立堀之内小学校）

兼コーディネーター：吹原 顕子（大阪商業大学）

<第2会場>「GIGAスクール構想下でのICT利用」

提案者：藤木 仁美（神奈川県・座間市立座間中学校）

芹澤 和彦（大阪高等学校）

兼コーディネーター：和田 憲明（姫路大学）

<第3会場>「新学習指導要領に則した指導と評価について考える」

提案者：本多 敏幸（東京都・千代田区立九段中等教育学校 ほか）

秋山 容洋（兵庫県・姫路市立四郷学院後期課程）

兼コーディネーター：五十嵐 浩子（国士舘大学）

<第4会場>「生きて働く文法指導－ラウンド制の実践から見てきたこと」

提案者：阿部 卓（神奈川・横浜市立義務教育学校西金沢学園後期課程）

吉水 慶太（三重大学教育学部附属中学校）

兼コーディネーター：西村 秀之（玉川大学）

4. 講演（15:40～16:50）

「英語学習の動機づけを高めるために－主体的な学びを引き出す英語の授業（仮）」

講師：和田 玲（順天中学校・高等学校）

司会：久保野 雅史（神奈川大学）

5. 会員総会（16：50～17：00）

*終了後にZoomでの親睦会を予定しています。日頃の授業の取り組みや悩みなど、意見交換を行いながら、発表者、参加者間で親睦を深めましょう。

< 第2日： 8月12日（日） >

総合司会：小山 優子（千葉県・山武市立成東東中学校）

6. 授業実践報告・高等学校（13：00～14：00）

「生徒との英語のやり取りを大切にした授業づくり～「論理・表現Ⅰ」の取り組みを通して～」

報告者：津久井 貴之（群馬大学）

コメンテーター：高橋 一幸（神奈川大学）

7. 研究・実践発表（14:10～15:45）

各会場とも	① 14：10～14：30	② 14：35～14：55
	③ 15：00～15：20	④ 15：25～15：45

<第1会場>

司会：高橋 信博（東京都市大学附属中学校・高等学校）

- ① 「高校2年生の学習者はどのような方略や意識で初見の文章を読んでいるのか～英語力が異なる3名の学習者を対象として～」

発表者：坂井 峻也（神戸市立葺合高等学校）

- ② 「コミュニケーション英語Ⅱ教科書の内容理解を深めるためのアニメーション活用方法」

発表者：遊馬 智美（お茶の水女子大学附属高等学校）

- ③ 「コミュニケーション英語Ⅲの授業に CLIL 的視点を取り入れる ―思考タスクは効果的に生徒の深い思考を促したか―」

発表者：高木 哲也（筑波大学附属高等学校）

- ④ 「高校初級英語学習者の主体的な態度を育む継続的な国際交流コミュニケーション活動の実践～日本語を学ぶオーストラリア学生との学び合い～」

発表者：長谷川 太一（群馬県立万場高等学校）

<第2会場>

司会：米崎 里（関西学院大学）

- ① 「学級担任のする小学校外国語科における大単元構想」

発表者：石川 雄一郎（神奈川県・海老名市立今泉小学校）

- ② 「小学校外国語科における一人一台端末の活用の在り方～授業内での学びの深まり・授業外での学びの広がり～」

発表者：岩崎 夏子（伊勢崎市立第三中学校）

- ③ 「中学校検定教科書における SDGs の扱いと言語活動」

発表者：町村 貴子（東洋大学）・小山 優子（千葉県・山武市立成東東中学校）

- ④ 「学習者の自律性を向上させるための教科書準拠ワークブックの研究 ―どのような副教材が自律的学習を促進するか」

発表者：兼岩 明日香（文教大学大学院）

<第3会場>

司会：中村 拓也（立正大学附属中学校・高等学校）

- ① 「〈共同〉の場での立論の型（format）の習得が、高校生のスピーキング時の批判的思考力と知的志向に与える効果の検証」

発表者：佐古 孝義（京都教育大学附属高等学校／京都大学大学院）・篠崎 文哉（大阪教育大学）

- ② 「英語表現Ⅱ（3年）における文理融合・教科横断的授業実」

発表者：松田 裕史（鳥取県立鳥取西高等学校）

- ③ 「言語学で発達した理論を応用した英語ライティング指導」

発表者：渡辺 英雄（武蔵野大学）

- ④ 「高校入学直後の学習者の読解ストラテジー使用の調査－テキスト難易度・読解力の観点から見たストラテジー使用の違い－」

発表者：圓谷 幸三郎（神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校）・前田 哲宏（龍谷大学）

<第4会場>

司会：三山 寿紀（大阪商業大学）

- ① 「中学校英語科教員へのアンケート調査にみる言語活動の課題と展望」

発表者：桐井 誠（文教大学大学院）

- ② 「日本人中学生を対象にした話すこと[やり取り]における指導の工夫～生徒自身による英語で言えなかった日本語を調べる活動を通して～」

発表者：前田 宏美（東京都・港区立港南中学校）・松野 麻里恵（東京都・港区立三田中学校）

- ③ 「生徒の自己関連性を高めるパフォーマンス課題と評価－中学2年の教科書を活用した実践例－」

発表者：篠原 泰子（神戸大学附属中等教育学校）

- ④ 「「5ラウンドシステム」でのsmall talkで生徒たちはどのように伸びてゆくのか？」

発表者：山本 丁友（横浜市立本牧中学校）・西村 秀之（玉川大学）・太田 洋（東京家政大学）

8. シンポジウム（16:00～17:00）

「主体的に学習に取り組む態度をどのように育て、評価するか」

提案者：藤平 敦（日本大学）

泉 恵美子（関西学院大学）

太田 洋（東京家政大学）

コーディネーター：阿野 幸一（文教大学）

9. 閉会あいさつ（17:05～17:10）

会長 加賀田 哲也（大阪教育大学）

大会実行委員

実行委員長：豊嶋 正貴

副実行委員長：津久井 貴之

実行委員：阿野 幸一

西村 秀之

八木 孝之